

# 公民館と地域と学校の協働による知の好循環

～地域総がかりで子どもを育て、育った子どもが地域を創る～【長門市 菱海中学校区】

## 地域の概要

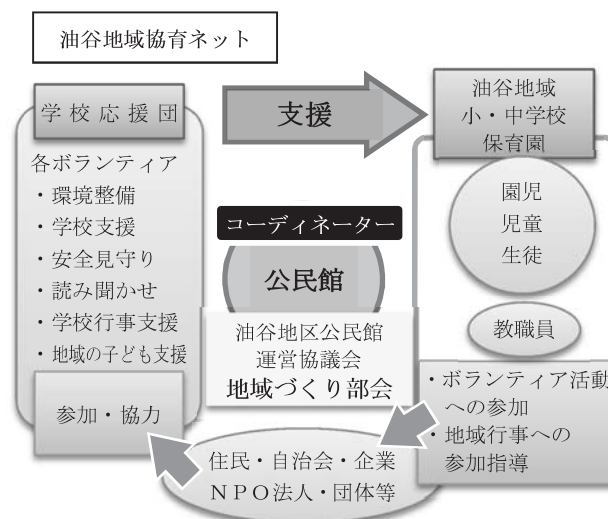
高齢化率 45.7%の油谷地域では、大人にも子どもにも「出番と役割」を提供することを通して、子どもたちから大人に笑顔と元気が広がることで、地域全体の活性化を図るとともに、育った子どもたちが地域を創るといった「知」が好循環する「油谷地域協育ネット」を進めています。

人口	6,579 人	
世帯数	3,012 世帯	
対象校及び児童生徒数	菱海中学校	112 人
	油谷小学校	137 人
	向津具小学校	32 人

## 組織の内容

【これまで】平成 19 年度の油谷小学校によるコミュニティ・スクールと学校支援地域本部事業の取組に端を発し、平成 23 年度、市内の全小学校がコミュニティ・スクールの取組を始めました。続いて、平成 24 年度には、市内の全中学校も同様に始めています。現在「油谷地域協育ネット」では、「地域総がかりで子どもを育てる」ためには、公民館が重要な役割を果たすと考えており、学校側の取組も公民館や地域と積極的に協働させています。市民協働の精神の下で、「地域総がかりで子どもを育てること」を「地域づくり」へとつなげ、より実践的で持続可能な仕組みへ発展させようとしているところです。

【公民館と学校が協働する組織づくり】 公民館の役割の一つとして、「より良き地域づくり」があげられます。より良き地域により良き学校や子どもたちが存在します。学校や子どもたちが良くなることは地域が良くなることであり、地域が良くなることは学校や子どもたちが良くなることにつながります。高齢化が進む油谷地域では、地域総がかりで学校や子どもたちを支援することを通して、逆に子どもたちからエネルギーをもらい、それが「生きがい」につながり、より良き地域づくりの原動力となります。また、育った子どもが、今度は地域を創る側に回るといった「知」が好循環する地域づくりにも取り組んでいます。公民館がもつ「つどい・まなび・むすび・生かし合う」といった地域づくりの機能を活用し、公民館運営協議会の参画による地域主導型の公民館をめざすとともに、小・中学校や保育所の取組についても、地域総がかりで支援する「学校応援団」の組織を地域に広げていく「コーディネーター」としての役割を公民館が担っています。



## 特色・重点的な取組

【地域づくりをめざす「地域協育ネット」】 公民館は、生涯学習の拠点としてはもちろんのこと、地域づくりの拠点としても機能することが求められています。公民館型の「油谷地域協育ネット」では、子どもの育ちの支援だけにとどまらず、子どもを地域総がかりで育てることを通して、高齢化が進む地域をより活性化する「地域づくり」をめざし、活動に取り組んでいます。

【育った子どもが地域を創る】 「地域協育ネット」の中で育った子どもたちが、成長過程でたくさんのお出合いを通して自尊感情を高め、家族のみならず地域の方々の温かさや人間としての素晴らしさを感じ取りながら育っていくことを大切にします。ふるさとの良さや素晴らしさに気付く取組が、やがては地域のためにできることや地域への恩返しといった「地域貢献」の意識や行動につながっていきます。大人の「知・実践」が、子どもの「知・実践」へとつながり循環していくことで、「知」が好循環する地域づくりをめざします。

## 主な活動の紹介

【公民館・地域から学校へ】 公民館活動をしているグループが年に1回は学校へ行き、子どもたちと給食をともにし、昼休みや授業の支援を行う活動を「おしかけふれあい塾」と称しています。この活動が子どもたちの体験の幅を広げ、地域の方とのふれあいによって自尊感情の向上に役立っています。一方で、大人の側の「生きがい感」も広がってきて、いわゆるWin-Winの関係ができ上がっています。生涯学習で培った知識や技能あるいは技術を子どもたちに紹介し、伝えようとする大人の姿から、次世代を担う子どもたちの育ちに対する地域の方々の期待感や願いをくみ取ることができます。



日本舞踊「寿藤会」

【学校から地域へ支援の要請】 小・中学校における総合的な学習の時間や社会科、音楽科、家庭科、体育科などで、地域の専門家や先輩を講師として招き、学校との良い関係ができている中で、次第に学校側からの支援の要請が増えてきました。特に、教員が地域の方を知り、その地域でしかできない教育として価値を高めていこうという姿から、コミュニティ・スクールに対する意気込みも見えてきました。また、教員の授業に対する姿勢や意気込みも強くなってきました。



中学校での授業支援

### 【子どもたちが地域を創る】



油谷こどもミュージカル

合言葉「地域の皆様に笑顔と元気を届けよう」の下、「油谷こどもミュージカル」の公演が今年度で13回目となりました。毎回満席となる「ラポールゆや」のホールに元気いっぱいの演技と歌声を響かせ、油谷地域になくってはならない存在となっています。地域の祭でも中・高校生がイベント



防災セミナー

の進行役を務めたり、大学生が遠路、仲間と連れ立って感謝のステージを披露したりして、地域への恩返しをしようとしています。また、防災セミナーでは、大人と小・中学生と一緒にワークショップや活動に取り組みました。公民館が子どもたちにも「出番と役割」を提供し、その活動に対する価値付けや賞讃をしていくことで、「知」の好循環が生まれています。

## 成果と課題

【成果】 「おしかけふれあい塾」は3年余りの時を経て定着してきたように見受けられます。また、中学校との連携では、授業支援的な取組が主体となってきました。発達の過程に応じた大人のかかわり方のノウハウも確立してきています。これらの取組はコミュニティ・スクールの取組とマッチしており、公民館が事前の連絡調整をしながらコーディネートすることで、教員の負担を軽減し、授業へ専念できるといった点が成果となっています。また、参加者の満足度は毎回ほぼ100%となっています。

【課題】 生涯学習グループや公民館運営協議会と学校関係者による「地域協育ネット協議会」の組織の充実や、研修を含めた地域の方への意識化につなげていく手だてが必要であると感じています。

## 今後の取組

地域の実情に即した課題について公民館が取り組むことは、地域づくりにも通じる場所があります。地域の方一人ひとりの生活課題もありますが、地域として取り組むべき課題についての当事者意識を持ち、自分ができることについて考え、行動することやお互いに支え合い、つながっていくことで新しい知恵を出し合っていくことが大切であることは言うまでもありません。未来ある子どもたちを育てていく喜びを大人が共有することで、地域総がかりによる子育てが、実は、大人の育ちにもつながっていることを自覚しながら、この取組を浸透させていきたいと考えています。